

県人会 第七回「特別講演会・懇親会」開催される

人気番組「あさイチ」のアナウンサー 有働由美子氏と

東京岐阜県人会 会長 吉村泰典氏 講演会

去る平成27年7月11日(土)14時より、駒澤大学深沢キャンパス洋館大ホールにおいて「県人会 第七回 特別講演会・懇親会」が開催された。猛暑の最中71名の参加を得た。

講演会は2部構成。第1部がNHKアナウンサー有働由美子氏による「NHK人気番組 あさイチの裏側」。「あさイチ」の番組制作に關わる苦労話から、「紅白」の話にまで及び、予定の講演時間を大幅に超過し、画面を通しては見られない有働アナの一面を垣間見ることができた。

第2部は吉村会長による「わが国の少子化を考える」。吉村会長は慶応義塾大学名誉教授、内閣官房参与「少子化問題担当」でいらっしやることもあり、人口動向や少子化の現状、問題点等について、医学的見地も含め、ふんだんなデータを基に解説して頂いた。短時間ではもったいないような講演内



第2部で講演する吉村会長

容で、当日上京してご参加頂いた古川雅典多治見市長などは早速、地元での講演を依頼されていた。その後、同じ会場を模様替えし、15時30分より懇親会を開催した。残念な

がら有働アナは次の仕事に向かわれたが、講演会の余韻さめやらぬ中、いくつもの人だかりができ、会員交流が図られていた。

今回は、講演会・懇親会の様子に代え、遠路ご参加頂いた古川雅典多治見市長と総務企画委員の柳澤敦子さんに、講演会・懇親会に参加しての感想を寄せて貰った。

夏のイベント感想

多治見市長 古川 雅典

有働由美子アナウンサーの歯に衣を着せぬお話しに全員が、感動と笑いのうずでした。特筆すべきは、テレビを

通して拝見するより、実物はさらに魅力的な方でした。

第2部の吉村先生の人口問題。『安保法制より、人口対策を、国として本腰を据えて、対応するべき』とお言葉は、まさに目からうろこでした。

さっそく、吉村先生に多治見市へ来ていただき人口問題について、『国の責務、市の責務』の講演をお願いしました。

現在、策定中の第7次総合計画では、消滅可能性都市と言われたことをばねに、人口問題を1丁目1番地として、倍返しするための施策の準備を着々と進めています。

多治見市では、人財の育成を最



有働アナの講演は笑いがいっぱい☆

優先に街づくりを進めています。教育環境及び医療環境は岐阜県NO.1です。また、若い人が働ける場所を確保するため企業誘致を進め、多くの優良な企業に進出いただきました。

特に、女性が働きながら、子育てできる環境を整えることが最も重要であり、そのため、多治見市では「女性活躍会議」を本年7月に発足させました。市内の女性経営者や働く女性が多い企業の担当者や、官民協働で、職場環境の課題を見つけ、具体的な解決策を見出していきます。

少子化対策は国の責務で行うべきものですが、市の責務としてやるべきことは、きっちりとスピードと正確さを持って進めてまいります。

## あさイチの魅力

柳澤敦子

その人は真っ白なワンピースに真っ赤なメガネで颯爽と現れた。ブラウン管の中の笑顔をそのままに・・・(十数年前から憧れ続けた人が目の前にいる。お話を聞ける)ドキドキしながら私は「あさイチノート」をギュッと握りしめた。その人とは・・・吉村会長も監修をされているNHK朝の情報番組でお馴染み、有働

由美子アナウンサーである。

「あさイチ」の番組では賛否両論ある中、敢えてデリケートなテーマに60人ものスタッフと真摯に向き合っているという。番組中に届く視聴者からのファックスも生の声として大切に取入れ、有働さんへの容赦のない質問にも真正面から答えようという心がけているようだ。他の二人の司会者とも息の合った家庭的な環境の中での番組作り。6年もの間、人気番組として続いている理由がよく分かった。

アメリカ駐在時、始めは英語力の無さに苦労したが、常に自分の意見を主張することで自らの存在感を強めていったようだ。この時の経験は今の自分に多大な影響を与えているという。

そして紅白歌合戦の司会者ならではの楽しいエピソードも沢山聞かせていただいた。ある年は進行に失敗し、終了まで時間が余ってあわてってしまったことなどを身振り手振りを交え話して下さった。会場中笑いの絶えない、あっという間の1時間だった。

一日一日を真剣に常に後がないという姿勢で過ごし、笑顔の奥には批判を受け止め、分析して乗り越える力を秘めている。一人の女性として大いに尊敬できる生き方にとても感動した。スポーツキャスター時代から大好きだった私の思いは増々強くなり、まだまだ続くだろう。そして私は今朝も洗濯機をまわしながらテレビの前に駆け寄るのである。

